

## ベトナムにおける救急救命士の教育課程の設立支援事業

- ① ベトナムの感染症発生率が減少し、非感染症と交通事故による疾患が増加。これによりEMSが必要な患者が増え、持続可能なEMSシステムの構築が課題となっている。また、ベトナム政府は2024年から救急救命士の資格を設立。ベトナム国家医科薬科大学から救急救命士のカリキュラム作成支援と学科設立の支援要請を受けた。
- ② 日本のEMSの臨床技術と教育技術を活用し、同大学に救急救命士の教育課程を開設することを支援する。
- ③ 北原グループ、国士舘大学と協力し、ベトナム国家医科薬科大学の指導候補者に対し、日本研修と現地研修を実施する。日本研修では国士舘大学等で救急救命士の養成指導技術に関して学び、また、日本のEMSシステムの理解を深める。現地研修ではカリキュラム、テキスト作成の支援と指導候補者に救急救命処置に関する研修を行う。研修先として115ハanoi救急センターを利用。
- ④ 2027年までに同大学に救急救命士課程を開設し、毎年30名の専門人材を輩出する。同大学は保健省や教育訓練省と連携し、他校へのノウハウ提供を通じて全国的な救命士養成を促進する。また、同大学は本研修内容を公安省職員に技術伝達することで、住民の安全を守るサービス向上に貢献する。さらに、日本のEMS技術の導入により、日本の関連産業の進出が促進され、医療全体の連携強化にもつながる。

